

令和8年度 教 育 計 画 鬼北町立愛治小学校						学校番号	069
校長名	下田 新	学級数	2	児童数	6	教職員数	3

校訓

愛人治心

人を愛すれば心治まる

— 学校の教育目標 —

ふるさとを愛し、互いを大切にしながら学び続ける
たくましい「愛治の子」を育てる。

〈 目指す学校像 〉

○挑戦する学校 ○信頼される学校 ○ぬくもりのある学校

〈 目指す児童像 〉

～校歌の歌詞より～

「高い望み」をいただく

「強い心」を養う

「心の花」を咲かせる

◆目標を持ち学び続ける子

愛顔(えがお)キラキラ

◆あきらめず前向きに努力する子

やる気モリモリ

◆人も自分も大切にする子

心ホカホカ

〈 目指す教師像 〉

- 学び挑戦し続ける熱意ある教師
- 児童・地域とともに歩む信頼される教師
- ぬくもりのある人間性豊かな教師

挑 戦	体験から学ぶ	和顔愛語
☐ 第5期愛媛県学力向上推進計画の着実な実践と検証 ☐ 「個別最適な学び」と地域学習の推進 ☐ 対話的なコミュニケーション能力の向上	☐ 目的を明確にした体験と深い学び ☐ 主体性と粘り強さの育成 ☐ 自己理解の深化・他者理解と尊重	☐ 自分も人も愛顔(えがお) ☐ 感謝の気持ち・謙虚さの醸成 ☐ 挨拶から始まる対話的で温かな人間関係

〈 家 庭 〉

- ・対話による信頼関係の構築
- ・保護者の積極的な活動への参加
- ・児童理解と生活・学習習慣の確立

〈 地 域 〉

- ◇ 学校運営協議会
- ◇ 地域学校協働活動
- ◇ 教育活動サポーター
- ・地域とともにある学校づくり

重点目標	1 地域とともにある学校づくり (1) 家庭・地域と深くつながり、学校運営協議会を充実させ、地域学校協働活動を工夫することで地域に信頼され地域に開かれた学校づくりに努める。 (2) 児童が、愛治地区での学びを自信にして、愛治や鬼北町を愛し誇りに思い、地域の一員としての意識を高め、自分たちができることを考え実践できるよう、他校との交流や他地域での学びを積極的に行う。 (3) 学校からの発信をホームページや学校通信、テレビ放送、鬼北町内学校間等で積極的に行い、児童や学校のことを多くの方に知っていただく機会を増やす。 2 これからを生きる子どもたちの「生きる力」を育てる学校経営・学校運営 (1) 「一人一人ちがって当たり前」「一人でもやる」「力を合わせる」という意識を定着させ、目標を持って意欲的に学習に取り組み、主体性や粘り強さ、自他を大切にする態度を育てる。 (2) 極小規模校のメリットを生かした機動力で、児童参画型の教育活動を計画・実行し、自治的で協働的な校風を発展させるとともに、校外でも発揮できる力と広い視野を育成する。 (3) 全教職員が、小学校教育6年間は、児童の生きる力の基盤をつくるという職責を自覚し、全校児童の担任という意識を持ち、個々の児童の個性を大切にし、状況や課題に気付き、情報を共有し組織として対応して、たくましく明るい児童を育てる。 3 特別支援教育・人権教育の推進 (1) 互いの意見を聞き合い話し合って学びを深める活動や考えが違うとき相互が相手の意見に耳を傾け納得解を見つける体験を多くし、互いを尊重する態度を育てる。 (2) 障がいのある人への理解と共生意識の涵養に努め、障がいについて、全職員が適切な理解と認識を持ち、個に応じた指導や支援を行う。
管理運営	1 人的管理 (1) 教育公務員としての自覚を持ち、研修に励み、キャリアステージに応じた人材育成を行い、全ての教職員が、専門職としての資質・能力を向上させる。 (2) 一人一人の教職員が、危機管理意識を高く持ち、報告・連絡・相談の日常化を図り、互いの声掛けと気付きで不祥事を撲滅し、サービスの厳正、信用の保持を徹底する。 (3) 協働的で風通しのよい人間関係を結び、業務改善を図り、教職員の心身の健康維持と休暇が取得しやすい環境づくりに努め、働きやすく働きがいのある職場にする。 2 物的管理 (1) 教育の場にふさわしい清潔で整頓された教育環境の整備に努める。 (2) 施設・設備・薬品庫等の安全点検を徹底するとともに、防災・減災対策の充実に努める。 3 事務管理 (1) 共同学校事務室との連携を密にし、公文書の迅速・適切な処理に努める。 (2) 公金の取り扱いに十分留意し、複数の目で確認し、厳正な経理事務に努める。 (3) 鬼北町情報セキュリティポリシーを遵守するなど、情報公開への適切な対応や個人情報保護の徹底に努める。
本校教育の特色	本校は、愛治地区の中央の丘の上に建ち、校舎には地区町有林と旧校舎の木材が使われ、地域全戸からの勤労奉仕や寄付等の地域の協力によって建築されたものである。古くから地域の中で子供や学校、教育が大切にされている。昨年度 43 回目を迎えた地区住民が参加する愛治地区PTA研究集会が継続されており、学校と家庭と地域が一体となって地域の子供を育てるという風土がある。昨年度より愛治小学校教育活動サポーター制度も導入し、月に1回の環境整備にも取り組んでいただいている。 校訓は「愛人治心」で「人を愛すれば心治まる」と訓読する。これは昭和の思想家、安岡正篤氏が愛治小学校の為に書き下ろした書に由来する。校訓碑には、その意味が「お互いに助け合い励まし合うことが勉強の基本になる」と記されている。 児童数・教職員数の減少も著しいが、極小規模校の利点を最大限に引き出し「愛人治心」の具現化を目指して学校・家庭・地域が一体となり、児童の自己実現をしっかりと後押しできるような教育活動を行っていきたい。

